

代表者名	門脇光浩	所管部課名	観光文化スポーツ部観光戦略課
所在地	仙北市田沢湖玉川字渋黒沢国有林	設立年月日	平成3年10月22日

【沿革及び県の出資理由】

県のリゾート構想に基づき、玉川重点整備地区に民間宿泊施設及び自然公園施設が整備される予定であったことから、地区内の県有基盤施設の維持管理や、給湯施設の整備等を目的に県等の出資により平成3年10月設立。

【出資者】（25年度当初）（千円、%）

区分	団体数	出資額	構成比
秋田県	1	5,000	50.0
市町村	1	1,000	10.0
その他	2	4,000	40.0
計	4	10,000	100.0

【事業】

①主たる業務

新玉川地区進出企業に対する玉川温泉供給施設の整備運営

②事業実績（人）

事業名等	22年度	23年度	24年度
ビジターセンター来場者数	17,730	12,514	11,604

③24年度事業概要及び25年度事業計画・目標

24年度事業概要
 ・給排水施設維持管理業務、基盤施設維持管理業務、基盤道路除雪業務、ビジターセンター管理運営業務
 25年度事業計画
 ・24年度と同様の業務を行う

【組織】

①役員数（H25.7.1現在）（人）

	取締役	監査役
常勤	1	
内、県退職者		
内、県職員		
非常勤	4	1
内、県退職者		
内、県職員	1	
計	5	1
内、県関係者	1	

②職員数（H25.4.1現在）（人）

正職員	正職員	正職員
内、県退職者	平均年齢	平均勤続年数
3	歳	年
出向職員		
内、県職員		
臨時・嘱託		
内、県退職者		平成24年度正職員平均年収
計	3	千円
内、県関係者		

役員報酬支給対象者数(平成24年度)	人
役員報酬支給対象者平均年齢	歳
平均役員報酬額(平成24年度)	千円/年

【財務】

①損益状況（24年度）（千円）

	金額
経常収入	A 26,667
受託事業収入	26,541
補助金収入	
自主事業収入	
運用益収入	
その他	126
経常支出	B 26,421
人件費	5,090
その他	21,331
経常損益	C = A - B 246
経常外収入	
諸税	127
当期損益	119

②財務状況（24年度末）（千円、%）

	金額	構成比
流動資産	29,185	97.0
固定資産	899	3.0
資産計	30,084	100.0
流動負債	19,759	65.7
短期借入金		
固定負債		
長期借入金		
負債計	19,759	65.7
資本金	10,000	33.2
剰余金	325	1.1
純資産計	10,325	34.3
負債・純資産計	30,084	100.0

	金額
県の損失補償額	県の債務保証額

	金額	引当額	引当率
退職給与引当状況	要支給額	0	0%

【県の財政支出】

	22年度	23年度	24年度	支出目的・対象事業概要等
補助金				
委託費	9,823	9,709	9,617	県有基盤施設の維持管理業務、基盤道路除雪業務、ビジターセンター管理業務
貸付残高				

1 主な経営指標

項目		単位	22年度	23年度	24年度	22-23増減	23-24増減
健全 展全 性性	自己資本比率	%	45.21	38.68	34.32	△ 6.53	△ 4.36
	借入金依存率	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	流動比率	%	168.57	159.13	147.70	△ 9.44	△ 11.43
	経常収入額	千円	27,518	27,644	26,667	126	△ 977
収益 性	剰余金（△欠損金）	千円	106	206	325	100	119
	経常利益率	%	0.40	0.83	0.92	0.43	0.09
	総資本利益率	%	0.50	0.87	0.82	0.37	△ 0.05
効率 性	総資本回転率	%	1.23	1.05	0.89	△ 0.18	△ 0.16
	職員1人当たり経常収入額	千円	9,173	9,215	8,889	42	△ 326
	人件費比率	%	18.28	18.50	19.09	0.22	0.59

2 経営目標の達成状況

経営目標			22年度	23年度	24年度	25年度
経営 改善 指標	県委託費（千円）	目標	9,791	9,737	9,657	9,591
		実績	9,823	9,709	9,617	
事業 成果 指標	ビジターセンター来場者一人あたり 管理経費（円/人）	目標	252	276	274	328
		実績	285	397	424	
事業 成果 指標	ビジターセンター来場者数（人）	目標	20,000	18,000	18,000	15,000
		実績	17,730	12,514	11,604	
事業 成果 指標	給水量（m ³ ）	目標	182,600	139,000	152,500	145,000
		実績	170,158	149,665	145,323	
顧客満足度指数	目標	76	76	76	79	
	実績	75	73	79		

3 経営状況及び課題、経営目標の達成状況についての自己評価

- ・給排水施設維持管理業務は、年間を通じて雨の日が少なく、特に8・9月は猛暑が続き濁水が心配されたが、各施設の節水と取水場の土砂上げ作業を行い取水量を確保し、全体としては年間を通して安定した飲料水の提供ができた。
 - ・県営ビジターセンターは、東日本大震災、福島原子力発電所の事故で、現在も東北地方への警戒・敬遠傾向にあり、観光客にも影響していることや、利用度が高い玉川温泉宿泊施設への利用減少が尾を引いており、入館者数が昨年に比べ910名の減員になった。
 - ・除雪業務は、昨年以上に降雪量が多く、降雪期間も長かったことに伴い、除雪機械の稼働が多くなり経費もかさんだ。大きな事故・トラブルも無く、無事にシーズンを終えることができた。
- <顧客満足度調査の結果を受けて実施する取組>
- ・ビジターセンターは、周辺施設・関係機関へパンフレットを配布しPRに努める。また、職員による積極的なイベント取り組みと館内手作り装飾を行い、お客様から喜んでいただける運営を目指す。

4 総合評価（計算書類等の資料及びヒアリングによる評価）

I 概ね安定した経営内容	II 一層の努力を要する経営内容
<ul style="list-style-type: none"> ・新玉川地区進出企業に対する玉川温泉供給施設の整備運営を主たる業務とし、当該企業2社から負担金収入を得て運営しており、当年度は、企業負担金が941千円減少したものの、修繕費等の減少によりほぼ前年度並みの経常利益を計上している。 ・未収金の平均回転期間が約4か月と長めであり、修繕積立金及び設備積立金計17,335千円と見合いの定期預金17,564千円を除けば現預金の残高は1,577千円と低い水準であることから、債権回収・資金管理に留意が必要である。 ・県の委託業務であるビジターセンター管理運営について、観光客減のため来場者一人当たり管理経費は増加しているが、総額ではほぼ前年並みとなっている。ビジターセンター自体は入館無料であることから、他の事業を含めた経費の見直しに加えて、新たな収入源を検討する必要がある。 	